

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (東北)	◎	高級レストラン（支配人）	・乗客数が徐々に増えているため、良くなるとみている。
	○	スーパー（店長）	・度重なる値上げがあり、客がそれに大分慣れてきているという感じがある。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているが、行動制限はないため、人の流れは良い方向にあるとみている。1人当たりの購入単価や買上点数は堅調であるため、少しずつ景気は上向くとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始を過ぎても、更なる人流回復が期待できる。
	○	衣料品専門店（店長）	・今年の春もある程度回復したが、成人式、卒業式、入学式等の中止や延期がなければ来春もスーツの需要が見込めるため、やや良くなってくるとみている。
	○	乗用車販売店（店長）	・慢性的な中古車不足のため、市場価格が高騰している。直近では客からも高額査定への期待の声が出てきており、商談の数がかなり増えてきている。
	○	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症に対して、社会全体的に慣れもあるのか、飲食などは大分影響が緩和されているところもあるようである。しかし、まだ学校関係や医療関係は厳しい状況が続くと予想している。春先の人の動きを予想することは難しいが、少なくとも前年よりは動くとも見ており期待している。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・全国旅行支援は年明け以降も延長予定のため、やや良くなるとみている。
	○	旅行代理店（従業員）	・先の見積り提出件数が増えてきている。旅行を見合わせていた企業が動き出しているようである。
	○	競艇場（職員）	・12月、1月は人の入りが多いため売上は良くなる。イベントなどでも後押しするため、悪くなることは考えられない。
	○	住宅販売会社（経営者）	・宅地造成を行い、建築条件付で分譲予定である。その造成地内で大型集合住宅の受注が決まっている。
	□	商店街（代表者）	・年末を控えているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増えている。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・取り扱っている商品は再販商品のため販売価格が決まっており、コストの上昇分を販売価格に転嫁できない。このことは業界全体の問題として取り上げられている。個別の販売促進、個店ごとの多角化といったこともなかなか難しいため、非常に厳しい状況が続くとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・年末年始にかけて人出が多くなる時期になるが、同時に新型コロナウイルスの新規感染者数も増加することが予想される。政府の対策がないままでは、景気は悪い状態が続くとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・販売量は前年比126%になっており、2～3か月は変わらず推移するとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数はまた増加傾向にある。さらに、様々なものの価格が上昇するなかで、厳冬の予報も出ている。豪雪地帯のため暖房費や除雪費の負担が増えれば家計がひっ迫することは間違いない。その状況に鑑みても状況が好転することは難しい。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・利幅が上がる仕立ての注文がないため、売上は伸びないとみている。
	□	百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まり、物価高による生活防衛等が続く間は現状に変化はないとみている。
	□	百貨店（催事担当）	・冬季を迎え新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染拡大が予測されるなか、食品、生活雑貨等の値上げもあり、消費が上向き要素に乏しい。
	□	百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減らず、ウクライナ情勢も変わらないとみている。
□	スーパー（経営者）	・光熱費の上昇や商品の値上がり客の買物頻度を下げている。平日の売上が落ち込み、特売日やポイント倍セールなどに偏る傾向がますます強くなっている。	
□	スーパー（店長）	・客の財布のひもは相変わらず固い様子である。暖房費もかさむ季節を迎え、今の状況の改善は見込めないとみられる。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・各メーカーの値上げは2～3か月後も続くことが予想され、客の財布のひもが固い状態は変わらないとみている。年末年始のごちそうやおせち等の予約の動きは好調で、内食需要はまだまだあるといえる。しかし、値上げにより食品小売業は余り良い状態にはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が第8波に突入し、年末の帰省や人の動きに影響が出るとみている。現状と変わらず、景気も横ばいになるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の影響があり、この先も余り変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・年末年始を迎えて商売的には売上増加となる時期である。しかし、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き心配がないことに加え、エネルギー価格の上昇を含む物価高騰が続かなかで、商売もしづらい状況が続いている。今後、値上げはますます続くことが予想され、景気の後退は避けられないとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染対策をしながら観光や買物をする人は増加しつつあるものの、元の状態に戻るのには難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・年末年始に向け購買意欲が高まる時期であるが、物価高騰による買い控えは継続すると予測している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・賃金やボーナスの増加など明るい話題が広がってこない限り、現状から消費が大きく変化するとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・物価上昇により生活必需品の購入で負担が増えており、し好品の購入は我慢が強いられる状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・販売停止中の車の販売再開のめどが立っていないため、今後しばらくは変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・受注台数の推移に大きな変化はないが、在庫時期は車種ごとに違っている。3か月後に売上となるのは、8月以前の受注分がほとんどのため、今後も売上に大きな変化はないことが分かっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・2～3か月後は決算期であるものの、納期が不安定であるため収益がままならない。新車がこななければ、中古車の在庫も発生しない。サービスでも法定点検が発生せず、台数が苦戦中である。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・降雪量によっては潤う業種も多く出てくるが、各種コストも上がっている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・受注生産なので、現状で2～3か月先の納品予定の受注がないと厳しい状況は変わらない。受注目標をクリアする努力をしていくほかはない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・予想していたよりも気候が良く、配達灯油の需要が伸び悩んでいる。販売価格の動向によっては増販は難しいとみている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・現在は全国旅行支援のおかげで人が動いている。しかし、物価高の影響もあり、この先は不透明である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・1年の間でも、回復してきた雰囲気があったり、突然落ち込んだりが何度も繰り返されている。多くの人が行動の計画を立てられず、直前に判断するものとみており、3か月先は見通せない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にかなり左右される。特に酒を提供する飲食店は12月もかなり厳しくなるとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊業関連に対して政府がどの程度支援するのか次第である。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の到来で見通しが立たなくなったが、全国旅行支援の延長が決まったため、現在の良い状況が続くことを期待している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響で、国内旅行では取消しや見送り又は延期するケースが増加傾向にある。冬季シーズン到来による感染拡大も懸念されるなかで今後3月までは鈍化傾向が続くものとみている。海外旅行は円安や物価高騰などの影響により、当面は現状維持である。インバウンド需要は現状の規制緩和が続く限り増加傾向が続くものとみている。

□	旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援の予定が分からないが、割引の設定が終了したタイミングで邦人需要は一気にストップするのではないかと懸念している。東北ではインバウンド効果を実感するまでにはまだ時間が掛かるとみており、邦人需要のストップからインバウンドの効果が出るまでの期間に空白が生まれることを懸念している。
□	タクシー運転手	・スマートフォンの配車アプリを使用した若者のタクシー利用が、年配者のタクシー利用と同じくらいに増えてきている。しかし、今後の展開は読めない。
□	通信会社（営業担当）	・良くない状況を好転させるような材料に乏しい。
□	観光名所（職員）	・12月の予約状況は前年の実績数を上回っている。全国旅行支援の延長も発表され、このまま政府の対策が続くとすれば、今と変わらない好景気が続くともっている。
□	遊園地（経営者）	・シーズンオフで日数限定営業となる。新型コロナウイルス感染症の第8波や値上げの動向次第ながら、大きい変化はないとみている。
□	美容室（経営者）	・年末に向けて季節要因で良くなる部分もあるが、来客数の状況が悪い流れはしばらく続くともっている。ウクライナ情勢の影響などによる物価高騰と来客数には関係があり、しばらくは横ばいが続くともっている。
□	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・1月の初売りまでに新型コロナウイルスとインフルエンザの状況が大きく変わる可能性は低く、現状と同様の来場推移になるとみている。
▲	商店街（代表者）	・年末年始に帰省や旅行をする人が増加すると予想される。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は高齢者の買物客が多い商店街にとってはマイナス要因となる。
▲	商店街（代表者）	・値上げが続くとみている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響が心配である。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・ウクライナ情勢は長引くとみられ、この先も資源価格の高騰は続きそうである。消費者は出費を切り詰めるとみている。
▲	百貨店（経営者）	・年末年始は久しぶりに消費が活発に動く。しかしその後は、現在更なる物価上昇のニュースが出ていることから、一旦消費行動が落ち着くとみている。
▲	スーパー（経営者）	・ボーナスの増加や一時金給付、時給増といった話を聞くが、収入が増加してもエネルギー価格の上昇や食品の値上がりに追い付かず、家計が圧迫されることは変わらないとみている。買い控えの動きが強まることを懸念している。
▲	スーパー（店長）	・物価高の影響が消費の冷え込みに影響してくるのではないかと予測している。
▲	スーパー（営業担当）	・暖房費や除雪費の高騰が予想され、節約志向が高まっていくのではないかとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・物価が上がり、給料が上がらない状態なので、客の財布のひもは固くなるとみている。このまま変わらなければ、少し悪くなるとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・物価高、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、電気代の高騰で景気が良くなるとは思えない。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に季節要因が加わり、来客数は更に減少する。今期においては来客数の減少を単価がカバーしてきたが、カバーしきれなくなることが予想される。
▲	コンビニ（エリア担当）	・物価上昇で財布のひもが固くなりつつある。
▲	コンビニ（店長）	・今冬は電気料金が上がるという報道を受けて非常に警戒心が強くなっており、消費指数は若干下がっていくのではないかと予想している。実際に来客数は減っている。ウクライナ情勢も全く変化がなく、原油価格の高騰はしばらく悪影響を及ぼし続けるのではないかと懸念があり、やや悪くなるとみている。
▲	衣料品専門店（経営者）	・景気回復につながる明るい材料が見当たらない。

▲	家電量販店（店長）	・全国旅行支援があるため旅行などに金が回り、家電製品の買い回りには客の関心がないようである。寒さが厳しくなり季節商材が売れてくれればという期待はある。テレビなどの売上が上がる要素はない。故障すれば買ってくれる冷蔵庫や洗濯機などの白物家電は、今までどおり単価アップの方向で客に訴求していくが、基本的に客の財布のひもは固い。石油関係の値上がりなどにより、客自体が景気の先行きを不安視しているようである。
▲	家電量販店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が継続していくなか、来客数の伸び悩みが予想される。
▲	住関連専門店（経営者）	・元々正月を挟む月は仏具類の売上が落ち込む期間だが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることもあり、来客数の減少も見込まれ、売上は今年よりもやや落ち込むとみている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることから、更なる販売量の減少が見込まれる。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・年末年始商戦に期待したいものの、現在、新型コロナウイルス感染症が第8波の様相を見せている。その影響が出てくることを懸念している。
▲	観光型旅館（経営者）	・今が良すぎるため、若干今よりは下がるとみている。
▲	タクシー運転手	・10月は全国旅行支援により収益が大幅増となった月であった。今月は紅葉観光の客がまだ少しおり、新型コロナウイルス感染症発生前の50%の売上だが、前年比では40%増加している。全国旅行支援は年明けにも継続することが発表されたが、予算措置については言及されておらず、1～2月の景気は今年よりも悪くなる。
▲	通信会社（経営者）	・電気代の大幅値上げが決まり、併せて灯油が必要な時期に入るため、今冬は節約の期間となる。このため、これ以上の値上げが続くと、解約者数の増加にもつながると考えられる。
▲	通信会社（営業担当）	・ボーナスが出る企業もあるが、中小企業は資金繰りや人材不足等の要因により低迷しており、倒産件数が増えるかと予測している。よって、やや悪くなるとみている。
▲	通信会社（営業担当）	・ますます物価が上がり、客からの経費削減圧力が強くなるとみている。
▲	テーマパーク（職員）	・クーポンが終了することにより、消費が少なくなる可能性がある。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が段々と増えてきており、外出を控える人が多くなるとみている。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・年末はもつとにぎやかになり、来客数や販売件数が増えるのではないかと予想していたが、全く冷やかかであり好調は望めない。
▲	設計事務所（経営者）	・地域経済の鈍化に伴い、建設需要も低下するため、やや悪くなるとみている。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・物価高の影響に伴い、家計の節約志向が強まるとみている。高額な工事と緊急性の低い工事は先送りされることが予想される。部品の供給不足による工事の遅れも続くとみている。
×	商店街（代表者）	・消費はまだら模様である。若い層では低価格の飲食にシフトしており、それ以外では消費はかなり冷え込んでいる。これから来年にかけては、電気代を始めいろいろなものが値上がりしコストが掛かるため、消費は一旦止まるとみている。
×	スーパー（経営者）	・今冬は雪が多く降るとも寒くなるともいわれている。灯油代がかさむことに加え、電気代の値上がりによって消費者は節約志向になり、財布のひもは更に固くなるとみている。
×	コンビニ（経営者）	・毎年冬は厳しいが、更に最低賃金の引上げと電気代の高騰がとどめとなり、もはや経営できない、努力ではどうにもならないレベルまできている。24時間営業は今の時代限界がきているのではないだろうか。冬を越せないオーナーが多数出てくると予想している。
×	衣料品専門店（店長）	・電気料金の値上がりにより家計が圧迫され、更に買い控えが強くなるとみている。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・今後、第2弾、第3弾と値上げが続くことが予想される。国全体の戦略的な取組が一般国民にみえる形で示されなければ、更に節約志向が高くなり、悪循環に陥る可能性が高い。

	×	その他専門店〔靴〕（従業員）	・電気料金の値上げの発表もあり、ますます節約傾向が進むと考えられる。
	×	高級レストラン（経営者）	・コロナ禍も物価高も続くとみており、来春以降は分からないが、2～3か月先については良くないとみている。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減る様子もなく、インフルエンザの流行も懸念されており、客からは外に出ることを控えるという話が多く聞こえてくる。よって、景気は減退していくと予想している。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も物価の上昇もいつ落ち着くかが分からず、当地の景気回復はみえてこない。
	×	通信会社（営業担当）	・各社の追加値上げが相次いでいるが、一時的な手当を行っても吸収し切れない。消費税減税等の全体的に効果が出る施策が打たれない限り、ますます景気は悪くなる。
企業 動向 関連  (東北)	◎	建設業（企画担当）	・建設業においては工事の発注と受注の時期がずれており、現在の発注状況をみると先の受注状況がある程度予想できるため、減少しないとみている。
	○	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し規制が掛からない限り、クーポンを利用する客などがあるため年内の人流は止まることはないかと予測している。ただし、年明けから2月にかけては、全国旅行支援も終わり、イベントも乏しいため、反動により人流、消費が鈍ると予測している。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波が落ち着き、景気はやや良くなるとみている。
	○	建設業（従業員）	・現在入札中、契約交渉中の案件の受注・契約が一定数見込まれるため、景気はやや上向き見通しである。
	○	通信業（営業担当）	・年度末に向けて、各企業で年度内予算を消化するための購入が増える。
	○	公認会計士	・来年以降も全国旅行支援が継続されれば、小売、サービス、飲食関係の景気回復が進む。そのため、建設業などが現状を維持できれば、一部製造業等の業績が落ち込んでも、全体としての景気はやや良くなる。
	○	コピーサービス業（従業員）	・徐々に半導体不足が解消しており、メイン商品の入荷も改善している。商品の値上げの動きもあるが、値上げ前の駆け込み商談が増えてきているため、受注が元に戻ることを期待している。
	□	食料品製造業（経営者）	・来年も全国旅行支援が継続されるため土産需要は期待できるが、パーソナルギフト需要は冷え込む可能性が大きい。
	□	金属製品製造業（経営者）	・光熱費の値上がりりが顕著で収益が大幅に低下している。光熱費などの値上がりりが止まらない限りは景気が良くならない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量は増えつつあるが、鋼材、油、電気などの高騰が続き、利益は少ない状況が続くとみている。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・年末年始を控え、例年では動きが出てくる時期であるが、良い情報は入ってきていない。半導体関連の動きも滞っており、先々の良い情報はない。
	□	建設業（従業員）	・受注量は相応にあるが、材料費の値上がりりが気掛かりである。
	□	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波により、当社や主要製造業取引先においても最近また新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、業務に支障が出始めている。国の専門家会議は年末年始に向け更に増えると予想しており、景気浮揚に期待が持てない。
	□	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響で客の反応は消極的傾向になっている。客の動向を静観するのみである。
	□	広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の状況が見通せないことに加え、各種値上げラッシュやエネルギー価格の高騰等の懸念が強すぎて、販促費拡大に踏み切れない企業が多い。広告業界としてはしばらく低空飛行が続く見込みである。
	□	経営コンサルタント	・ウィズコロナに向けた抜本的なコンセンサスが必要である。
	□	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・2月頃までは新型コロナウイルスの感染拡大は続くとみている。
□	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経理担当）	・商品の値上げが続くため、変わらないとみている。	

	□	その他企業 [企画業] (経営者)	・良くも悪くもこれといった要素はないため変化はないとみている。当地の景気はスキー客の数に左右され、それは天候と、新型コロナウイルスの感染状況や全国旅行支援、冬のボーナス等の経済状況など様々なマインド要素が絡み合っており変わってくる。
	▲	農林水産業 (従業者)	・生産資材が2割程度値上がりしている。特に肥料のほとんどが4～5割高になっており、生産物に値段を上乗せできないため、生活も厳しくなるとみている。
	▲	食料品製造業 (営業担当)	・売上減少に加えて、原材料の二次値上げ三次値上げや燃料費の高騰等が収益を圧迫しており、悪化は避けられないとみている。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・コロナ禍で地方経済の疲弊度合いが増しており、首都圏との格差が一段と進んでいる。回復に向けた政治主導の施策は、実感として現場に伝わっておらず、機能していない。
	▲	窯業・土石製品製造業 (役員)	・製品価格の値上げを行っているが、諸資材の高騰が続いており、追い付かない状況である。新規採用もなかなかできない状況になっている。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	・電気料金の高騰により、更なる修繕費削減が予想される。
	▲	電気機械器具製造業 (企画担当)	・客の半導体関連の設備投資は需要調整で短期的には落ち込む可能性がある。しかし、半導体に関しては、各国の投資計画や国内有力企業による次世代半導体国産化計画が立ち上がってきていることから、盛り返してくるとみている。
	▲	金融業 (広報担当)	・寒冷地域ゆえに毎年冬場のエネルギー需要は高まるが、今年は特にエネルギー単価が高止まりする見通しのため、家計への影響は避けられない。
	▲	司法書士	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響でやや悪くなるとみている。
	▲	その他企業 [協同組合] (職員)	・これまで好調だった半導体関連が減速に向かっており、それに関連して全体的に受注量が減少することが予想される。
	×	農林水産業 (従業者)	・例年になく肥料価格が高騰しており、助成金はある程度下りるが、経営に悪影響を及ぼすことは避けられない。
	×	一般機械器具製造業 (経営者)	・半導体設備投資に陰りがみえてきており、金属部品加工事業の売上が下がると予想している。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (社員)	・東北地域では全体的に求人数が継続的に増加傾向にある。
	○	人材派遣会社 (社員)	・コロナ禍からの立ち上がりで旅行・インバウンドなどは回復の兆候があり、求人数は増えている。ただし、新型コロナウイルス感染症の第8波の影響次第では鈍化のおそれもある。
	○	新聞社 [求人広告] (経営者)	・イベントなどの実施運營業務が増加しており、それに対応する人材募集や人員確保も増加することが予想される。物価高騰や人材確保の難しさがマイナスに働く可能性はあるが、多くの企業で前向きになってきているため、景気拡大は続くともみている。
	○	民間職業紹介機関 (職員)	・取引先企業からは人材が必要という話がきている状況である。年明けから更に生産量を増やす計画がある企業もある。
	□	人材派遣会社 (経営者)	・飲食、旅行、製造、倉庫、靴の卸売・流通といったいろいろな業種・業界の企業で人材不足は続いており、人材採用の意欲は旺盛である。各企業からも、業績は悪くなく、とにかく人手が足りないという話を聞いている。よって、景気がやや良い状況は変わらずに続くのではないかとみている。
	□	職業安定所 (職員)	・資材、電力、燃料等の高騰や円安により収益悪化を訴える求人事業所が多い。また、求職者数の減少傾向が続き、労働力不足は解消の見込みがない。当面は同様の局面が続くとみている。
	□	職業安定所 (職員)	・求人数が求職者数を上回っている状態が続いているものの、燃料の価格高騰や物価高など、事業者や求職者に影響を与えることも予想され、状況を注視する必要がある。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・燃料価格の高騰や物価高の影響は継続するとみている。
	▲	人材派遣会社 (社員)	・電気、ガス、水道等の料金が一気に上がり、景気は悪化するとみている。
	▲	新聞社 [求人広告] (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第8波とウクライナ情勢等による円安の影響が地方経済に重くのし掛かっている。さらに、電力料金の値上げが市民生活にも影響を及ぼすことが予想される。

▲	新聞社 [求人広告] (担当者)	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新している。物価高もあり、広告の動きへの影響が懸念される。
▲	職業安定所 (職員)	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響は限定的で、ふだんと変わらない年末年始を迎えられるとみている。しかし、物価や燃料の価格高騰の影響が大きくなり、景気はやや後退するとみている。
▲	学校 [専門学校]	・円安、インフレに明確な対策が講じられていない。特に中小零細企業においては仕事の確保、雇用の確保が厳しい現状にあり、自社だけの対策では限界があるとみている。
×	アウトソーシング企業 (経営者)	・何もかもが値上がりしているため、利益が落ちている。客とは年間契約を結んでいるため、今年度は最悪である。